

アスリート

【建築計画】 スポーツ WS

①チーム更衣室形状

チームの一体感を重視し、円形のチーム更衣室を計画。



[円形のチーム更衣室]

②浴槽の設置

選手のコンディショニング向上のため、シャワー室に隣接させて浴槽を設置

③選手動線

選手動線は、入場から退場まで専用動線を確保。また、荷物の搬出入をスムーズにするため、段差を極力少なくし、扉は引き戸で対応。

④ラグビーポール高さ 17mを計画

ラグビー競技において、キッカーがより正確にゴールを狙えるよう、高さを 17mで計画。

③良好なピッチ（芝生）コンディションの提供

良好なピッチコンディションを提供するため、芝生育成システムを導入（ポップアップスプリンクラー、地温コントロールシステム、グローイングライト、大型送風機）

【システム】

①Wi-Fi（サッカー/ラグビー/陸上）

チーム更衣室やゴール裏スチールカメラマンへの Wi-Fi 環境提供等、競技・メディア・来場者で明確に分けられたネットワークの提供を可能とする。

②リボンボード（サッカー）

観客との一体感を醸成する空間演出効果を提供する。



[リボンボード設置事例]

③雷（天候）システム（陸上）

雷の移動予測、早期把握により、選手の安全確保を可能とする。

④デジタルサイネージ（陸上）

招集所等における競技結果表示等、競技運営においてスムーズな情報提供を可能とする。

⑤館内共聴設備（陸上）

更衣室、その他の選手待機エリアにおいて、競技進行状況等の把握を可能とする。

⑥競技審判補助カメラ【検討中】（陸上）

競技において審議が生じた場合に、保存した映像をジャッジの参考として確認することを可能とする。

【備品】

① チームベンチ（設置場所：競技空間）（サッカー）

選手がストレスを感じず、競技に集中してパフォーマンスを発揮できるよう、座り心地（シートのフォールド感、広さ、温度等）を考慮する。



[国立競技場でサッカー日本代表戦等で使用されたチームベンチ]

② プロジェクター/スクリーン（設置場所：チーム更衣室）（サッカー/ラグビー）

戦術が重視される近年のサッカー、ラグビーにおいて、試合開始前、ハーフタイム時に映像を用いたミーティングを可能とする。（天井設置型のプロジェクター、スクリーンの設置を検討。）

③ ウェイトトレーニング機器（設置場所：ウェイトトレーニング室）（ラグビー/陸上）

陸上競技（主に投てき競技）やラグビーの選手等が、練習時や試合前にトレーニング、ウォームアップを十分に行えるよう考慮する。

ユニバーサルデザイン

【建築計画】ユニバーサルデザイン WS

①車いす席

多様な観戦環境に配慮した設置計画（各エリアに水平垂直分散して配置）。電動車いす用充電コンセントをエリア内に計画。

②乳児関連施設

授乳室、託児室、キッズルームを各階にバランスよく配置。また、入場ゲート付近にベビーカー預かりスペースを計画。

③アクセシブルトイレの設置

車いす使用者用トイレ（利き手に配慮）
オストメイト対応車いす使用者用トイレ
多目的シート対応車いす使用者用トイレ
多目的シート・オストメイト付き車いす使用者用トイレ
同伴者とともに利用できるトイレ

④休憩室の設置

興奮を鎮める部屋として、各階にバランスよく設置。外部からの音を遮断する防音仕様。

⑤誘導ブロックの設置

スタジアム内外に誘導ブロックを設置。

⑥補助犬トイレの設置

補助犬用トイレをスタジアム内・外に設置。

【システム】

①デジタルサイネージ

災害時の避難誘導、その他情報提供において、聴覚障がい者への視覚情報の提供、外国人来場者への多言語対応を可能とする。

②観客避難誘導システム

人の滞留状況の分析により、有事の際の最適な避難誘導を可能とする。（大型映像装置、デジタルサイネージと連動）

③集団補聴設備

聴覚障がい者対応サービスとして、補聴器を補助する放送設備によるクリアな音声の提供を可能とする。

④音声誘導装置

視覚障がい者対応サービスとして、位置や方向案内等の音声情報の提供により、視覚障がい者の安全な歩行のサポートを可能とする。

【備品】

① おむつ替え台（設置場所：授乳室）

乳幼児連れの来場者が円滑に施設を使用できるよう、授乳室におけるおむつ交換を考慮する。（台の高さを低く設定し、足元の空間が確保された車いす対応型も想定。）

② ベンチユニット（設置場所：キッズルーム）

子供連れの来場者が観戦・観覧の合間に子供を自由に遊ばせることのできる、安全性も考慮した空間を提供する。

③ パーテーション（設置場所：休憩室）

発達障害児等がパニックを起こした際に、クールダウンやリラクゼーションを実現するためのカームダウンスペースの形成を可能とする。

来場者／ホスピタリティ

【建築計画】

①空の杜

スタジアム 5F に市民が気軽に散策できる『空の杜』を設置。

②日本らしさを感じることができるスタジアム

屋根やエントランス、ラウンジ、更衣室などに木材を利用し、日本らしさを演出する。

③避難計画

観客がスタンドから外部に出るまでの避難時間を 15 分として計画

④暑さ対策

観客の暑さ対策として、各エリアに空調を完備した休憩室を設置。1・2 層スタンドに気流ファンを設置。また、入場ゲート付近の人溜まり空間等に水の気化熱を利用したミスト冷却装置を導入。

【システム】

①Wi-Fi

来場者への快適なインターネット環境を提供する。



[左：Wi-Fi のアクセスポイント設置事例]

②デジタルサイネージ

コンコース等における場内案内、災害時の避難誘導等、必要な情報提供を可能とする。

③リボンボード

選手との一体感を醸成する空間演出効果を提供する。

④携帯電話不感知対策

来場者への快適な通信環境を提供する。

⑤ゲート（チケット）

来場者のスムーズで快適な入場、混雑緩和を可能とする。



[入場ゲート設置事例]

【備品】

①ラウンジテーブル／ラウンジチェア／ソファ

（設置場所：VVIP ラウンジ、VIP ラウンジ、観戦ボックス等）
訪れた VVIP・VIP 等が快適に過ごすためのおもてなし空間を提供し、デザイン、コスト、品質、内装空間との融合等の観点、また、様々な利用形態を想定し移動のしやすさも考慮する。

②ベンチ（設置場所：風のテラス）

風のテラスにはベンチを設置し、来場者が気軽に立ち寄り、休憩することのできる、憩いのスペースを提供する。

③テーブル、ベンチ等（設置場所：休憩室）

休憩室にはテーブル、ベンチ等を設置し、来場者が快適に過ごす休憩スペース（暑さ対策も含む）を提供する。

④コインロッカー（設置場所：1F ピロティー）

来場者が手荷物による煩わしさなく、快適に観戦することを可能とする。